

商品ファイル

■VW「up!」を一部改良

独フォルクスワーゲン(VW)日本法人は、VWで最小サイズの小型車「up(アップ)！」(排気量999cc)を5年ぶりに一部改良し、販売を始めた。専用アプリを使えば、スマートフォンでナビゲーションを利用できたり、駐車場の満室情報を確認できたりできる。全3グレードで価格は税込み158万7千円から。



■すっきり味のアクエリアス

コカ・コーラシステムは、水分補給をサポートする飲料「アクエリアス クリアウォーター」を15日に発売する。グレープフルーツ果汁を1%配合し、すっきり感を実現。カロリーも100ml当たり16kcalに抑えた。500ml入りのペットボトルで、希望小売価格は税抜き140円。



照明ちらつき、九州で増加

家庭の照明が急に明るくなったり暗くなったりする「電圧フリッカ」という現象が九州で増えている。太陽光発電が多く、電気の使用量が少ない晴天の昼間に起こるとみられ、この大型連休中にも広い範囲で発生する可能性があるという。九州電力によると停電や感電の危険はないが、対策を急いでいる。

今年の元日の昼過ぎ、鹿児島・宮崎両県を中心に、「照明がちらついている」との問い合わせが九電に相次いだ。同様の問い合わせが九州全県で計295件あった。2月19日にも、九州南部を中心に168件の問い合わせがあった。

普段は一定の電圧が、繰り返し変化することで発生する。照明のちらつきが約2時間続く。パソコンやテレビなどの家電への影響は確認されていない。

GW中にも広範囲で?

これまでは医療機器の周辺など狭い範囲で発生していたが、太陽光発電設備の普及により、広い範囲で見られるようになった。太陽光パネルと送電線の間には、故障の検知などのための装置があり、「信号」を送電線内に送っている。予想を超えて太陽光発電が普及したため、この信号が電圧を変化させる原因になっていた。九電は3月ごろから装置の設定を変え、信号を弱めるよう事業者に依頼するなどしている。

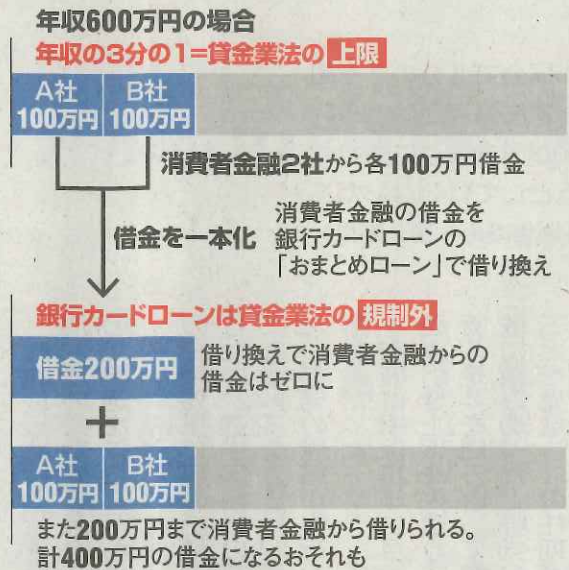
太陽光設備によるものとみられる電圧フリッカが九州のような広域で起こるのは珍しい。九州は日照時間が長く雪も少ないため、太陽光発電設備の普及が大幅に進んだ。昨年5月のピーク時には電力需要の約7割を再生可能エネルギーがまかなった。(高橋尚之)

おまとめローンに死角

消費者金融借入規制が振り出しに

銀行が無担保で多額のお金を貸すカードローンで、複数の借金を一本化する「おまとめローン」が、消費者金融への法規制の「抜け穴」になっている。消費者金融の借金は上限規制があるが、規制外の銀行の「おまとめ」に移せば、消費者金融から新たな借金ができる可能性があるからだ。多重債務を懸念する弁護士らは銀行への法規制を求めている。

銀行の「おまとめローン」で借金が膨らむおそれがある



「複数のお借入れを一本化」。ある地方銀行のホームページには、「おまとめ」にまとめて返済を案内するページには、「おまとめローン」のメリットをうたう宣伝文句が並ぶ。複数の借金をまとめると金利が下がり、返済日も集約できたり、返済しやすい、という。

このローンが、消費者金融を規制する貸金業法の「抜け穴」になっている。同法で、消費者金融は「年収の3分の1超」の貸し付けができない。例えば、消費者金融で年収の3分の1まで借りる。その後銀行のおまとめローンに借り換えると、消費者金融の借金はいったんなくなり、再び消費者金融から「3分の1」まで借りられる。銀行と消費者金融からの借金が積み上がりかねない。

また、銀行は貸金業法の規制外なので、おまとめローンからさらに乗せし、年収の3分の1超の額を貸すことができる。カードローンを比較できる力カクコム(福岡市)には、「銀行からの借入れは(貸金業法の)総量規制の対象外で、おまとめローンを利用した場合でも、追加融資をしてもらえる可能性がある」と記されている。

おまとめローンは銀行にとってメリットだ。複数の消費者金融などが受け取っていた利息を、1行でまとめて受け取る。貸付額が大きくなり、利息収入も期待できる。

多重債務に詳しい三上理弁護士は「銀行に借金を集約したあと、消費者金融などでおまとめローンを提供する銀行は「借りすぎないよう」に注意喚起している」(東京スター銀行)というが、「借り換え後に他の借入れを制限するのは難しい」(ネット銀の担当者)とする声もある。

銀行のカードローン残高はすでに消費者金融を超え、多重債務への懸念は強まっている。しかし、銀行業界は貸付額への規制に消極的で、金融庁の遠藤俊英監督局長も4月の国会答弁で「横並びで規制をかけるのではなく、銀行が自分で考えるべき話ではないか」と述べた。

銀行は収入証明がない場合の貸し付け上限を下げ、過剰な宣伝は控えるなど、過剰融資の対策に乗り出した。それでも、おまとめローンのような「抜け穴」は残り、「銀行も規制対象に加えるべきではないか」(三上理弁護士)との声が増す可能性がある。(藤田知也)



約4千点の手作りのアクセサリーが並ぶ福岡三越の「コトモノマルシェ」。親子連れの姿も=山下裕志撮影

母の日親子で楽しむ

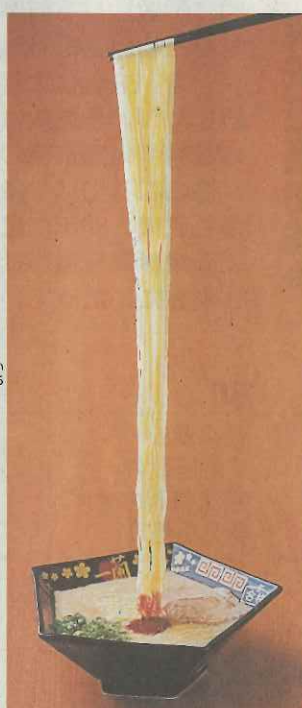
九州の百貨店 体験重視の売り場

14日の「母の日」に向け、レゼントの花にあじさいが好まれる傾向もある。岩田屋三越のキーワードは「共有できる愉しみ」。福岡三越(福岡市)は、1

博多大丸(同)は母の日の当日、客のスマートフォンを使ったプロのカメラマンによる親子の無料撮影会を行い、来客増をねらう。浜屋百貨店(長崎市)では有料で、フラワーアレンジメントの教室を開く。

一方、「稼ぎ頭の花」という傾向は変わらない。最近ではカーネーションに加え、あじさいも人気だ。佐賀玉屋(佐賀市)は昨年、母の日を含む週末の3日間で、あじさいがカーネーションの2倍ほど売れた。担当者は「季節に合い、花も日持ちする。コンビニでもカーネーションを売るようになったので、花屋も差別化するために力を入れた」と解説する。(山下裕志)

「合格ラーメン」59円麺一蘭



とんこつラーメンチェーンの一蘭(福岡市)は、「合格」にかけた59(ゴーカー)の「合格麺」を9日から全国37店舗で提供する。麺1本の長さは通常の2倍超。「替玉」を注文した客に出す。14日まで。

5月9日を「合格の日」として、同社が日本記念日協会に申請し、認定されたのを記念して行う。

9~14日 全国37店舗で

う。学問の神様として名高い太宰府天満宮近くの太宰府参道店では、昨年12月の開店と同時に提供していた。同店は「合格」がテーマで、プロポーズや就職試験を控えた人たちが験担ぎに食べに来ることもあるという。価格(一部店舗除く)は税込みで替玉が190円、半替玉が130円。通常の替玉も食べられる。(山下裕志)

「替玉」を頼むと、通常の2倍超、長さ59センチの「合格麺」を食べられる=一蘭提供